



# KAMO

## 第137号

2015年(平成27年)  
7月16日 発行

■発行者／県立加茂高校PTA ■編集／広報部  
\*6ページは定時制のページです。

## 加茂高だより



生徒の皆さん、あなたの夢は何ですか。イチロー選手や本田選手は小学校の卒業文集のなかで、将来の夢に日付をつけ、日々の努力を積み重ね、現実のものにしてきました。これは本人だけで考えたわけではなく、夢に親がヒントを与えて現実化していくものだと思います。本人の夢を明確にし、親が後押ししたからこそ加速度的に現実化が進んだものだと思います。それでも夢の実現に10年以上かかることがあります。あなたはどうですか。

高校では進路を確定しない目的ではありません。これから自分が生きていく上で、自分はもちろん、他人も喜ぶような夢を見つけ、大切な今を真剣に生きてください。

あなたは家族の希望です。命を大切にして人に優しく、夢をめざし、人の役に立つ人間になつてください。周りにいる親たちがあなたを死ぬ気で守っていくことを約束し、皆さんの光り輝く将来を祈つて挨拶とします。

(副会長 奥田 重信)

## 加茂高春秋

# ごあいさつ



PTA会長

天野 賢次



校長

高橋 博美

# MSリーダーズ活動 報告

生徒指導部長 小林竜二郎

5月18日朝、MSリーダーズ

ズ、加茂警察署、交通安全協

会の連携による、街頭啓発活

動を実施しました。まず、M

Sリーダーズ約20名が、のぼ

り旗を持つて本校正門前に集

合し、加茂警察署交通課長様

に分かれて活動をしました。

各場所では、あいさつ運動を

するとともに、自転車の危険

行為について説明するチラシ

や自転車の反射材を、登校す

る生徒一人一人に配付しまし

た。今後もこのような地道な

活動を通じて交通安全の意識

を高めながら、全校生徒が

無事故で安全に登下校でき

るようサポートしていくつ

もりです。



## 生徒の感想

・自転車の走行の方法やルールを改めて知ることができよかったです。走行している人もいたので、自分は見本となれるような姿で毎日登校したいと思いました。今年は自転車での事故を0にしたいです。

加茂高生の皆さん「文武両道」のもと昼間は授業、夜は塾、帰宅しても予習復習の日々、そして少ない時間の中での部活動やクラブ活動、生徒会活動と今一番忙しい生活を送っているのではないかでしょう。

しかし日々の生活が忙しく、疲れてしまっているとつい感謝の気持ちを忘れてしまいがちです。

毎日誰かと関わって生きていく中で感謝することは本当に大切だと思います。「感謝の気持ち」が自分の間違いを気づかせてくれ、間違いに気づいた人はもっと変わろうと思うはずです。感謝することで人は成長できると思っています。

今皆さん一番努力して辛いことは何でしょうか? とつても辛いけれど、毎日なんとか乗り切つていませんか? 勉強や部活動、仕事でも必ずそういうことがあるはずです。どうして毎日乗り切れているか?を考えるとそばにいる大切な人達の存在があるからです。勉強がわからなくて困っている時に熱心に教えてくれた先生や友達、大会での試合中でミスをしてうまくいかなかった時に「次はガンバレー」と励ましてくれた先輩やチームの仲間、学校の愚痴を聞いてくれ

る家族、この人たちから受けるやさしさが辛い毎日には欠かせないものになっています。皆さん声をかけてもらえないかつたり、助けてもらえないかつたりしたら、今どんな自分になつているのでしょうか? 少なくとも今より悲しい状況に陥つていてのではな

いでしようか。

あなたは友人や周りの人々にそんな風に声をかけてあげられますか? 自分がされて良かつたと思うことに感謝すれば、明日からあなたも同じように相手から感謝されるような行動ができると思います。「感謝の気持ち」を忘れず、一日一日を貴重なものとして、いかに充実させるかを意識して過ごしてください。

「ガンバレ、加茂高生!」

本年度で役員2年目になりますが役員のメンバーも昨年から

引き続いている方が多く、大変心

強く思っています。事業として

は進路ガイダンス、加茂高祭での支援、PTA主催の講演会、

各部活動の応援等を行つてまい

りますので保護者の皆さん、地

域の方々のご支援ご協力と各事

業への積極的な参加を宜しくお

願い致します。

この原稿を書いている時点で、選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に変更する法案が国で審議されています。成否は不明ですが、既に憲法改正の国民投票では18歳以上が対象となることが決まっています。高校生が在学中に選挙に行く時代が来ます。高校近くに生徒に主権者としての自立を促す教育が一層重要になります。本校でも、先日、模擬選挙等の授業が行われました。教育の政治的中立性への配慮も必要ですから、今後も様々な研究が各学校で行われていくと思います。

政治的には、お子さんが18歳で自立していきます。勿論、子供の自立は様々な面があり、全てが一度に訪れる訳ではありません。身体の運動機能面では、多くの高校生は既に自立しているでしょう。一方、経済的には「未だ

という場合が多いと思います。精神的にはどうでしょうか。いざれにせよ、学校や保護者の役割は子供が自立して生きていけるよう、社会に送り出すことだけだと思います。

また、「2011年に米国の小学校へ入学した子供達の65%は、大学卒業後、今は存在していない」と思うことに感謝すれば、明かり感謝されるような行動ができると思います。「感謝の気持ち」を忘れず、一日一日を貴重なものとして、いかに充実させるかを意識して過ごしてください。

「感謝の気持ち」を忘れないでください。

この原稿を書いている時点で、選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に変更する法案が国で審議されています。成否は

不明ですが、既に憲法改正の国民投票では18歳以上が対象となることが決まっています。高校生が在学中に選挙に行く時代が

来ます。高校近くに生徒に主権者としての自立を促す教育が一層重要になります。本校でも、先日、模擬選挙等の授業が行われました。教育の政治的中立性への配慮も必要ですから、今後も様々な研究が各学校で行われていく

と思います。

政治的には、お子さんが18歳で自立していきます。勿論、子

供の自立は様々な面があり、全

てが一度に訪れる訳ではありません。身体の運動機能面では、

多くの高校生は既に自立している

でしょう。一方、経済的には「未だ

という場合が多いと思います。精神的にはどうでしょうか。いざ

れにせよ、学校や保護者の役割は子供が自立して生きていける

よう、社会に送り出すことだけ

だと思います。

## PTA役員紹介

会長	天野 賢次
副会長	奥田 重信
副会長	山本 久哉
副会長	森下 稔恵
副会長	櫻井たか世
会計	只腰 功吉
会計	知子 知子

一年学年委員長	研修部長	岩井 麻里
二年学年委員長	広報部長	尾関 雅宣
三年学年委員長	広報部長	熊崎 真幸
進路学習部長	伊藤美代子	
役員選考委員長	百瀬 玉緒	
土屋 伸子		

一年学年回



広い視野と懇の心

1年では、高校3年間の基礎となる学力と生活習慣の定着を目標指します。また、すべての場面において、積極的な取組を奨励し、意欲的な力強い加茂高生となることを期待しています。

（具体的の方策）

- ① 5分前集合② 元気な挨拶③ 正しい言葉遣い④ 教室の美化⑤ 美しい制服の着こなし⑥ 部活動や行事への積極的な参加⑦ 協調性とコミュニケーション能力の養成⑧ リーダーシップの育成⑨ 自己適性の探求⑩ 目的意識を持つた学習

二年学年圖



岸	英語	藤村	理科	境田	昌寛	優	○
(数学)	(数学)	矢崎	(保健体育)	(数学)	水口	智	津田
今井	桂川	紀藤	國語	七組(理科)	高木	志保	健介
(地歴公民)	木澤	聰子	地歴公民	六組(英語)	酒井	宏吉	九組(出川)
増歴公民)	土井	誉仁	土井	五組(理科)	田中	里	尚古
弘文	金衛	慶和	四組(英語)	佐藤	貴士	一組(田中)	八組(地歴公民)
(国語)	長屋	三組(英語)	佐藤	貴士	田之本	本麻衣	二組(保健体育)
今井	桂川	貴士	田之本	田之本	麻衣	田之本	一組(国語)

**Challenge**

常に先の見通しをもち、卒業するときにはどのような自分になつてしまいたいかを考え、生活をしていくのをもらいたいと考えています。

常に新しいことに挑戦しながら、昨年よりも今年、昨日よりも今日の自分がより充実できるように学習、部活、行事に取り組んで行くことを目標に据えています。

何かと気が緩みがちなこの時期ですが、学校はもとより、家庭での学習を一層充実させ、自分の目標を進路に向けて努力を続けることができるようになります。

「今」のみに満足しない向上心を持ち続けてください。

三年学年固



木村 (英語)	横山 (国語)	横山也寸志	渡辺 俊丈
渡邊 (数学)	松原 (地歴公民)	勝久	克尋
佐藤 (保健体育)	杉山 (数学)	生真	前田 博子
古田 (国語)	佐藤 (保健体育)	典孝	七組 (英語)
丈博 (英語)	若園 (二組数学)	泰幸	中島 將仁
津崎 (英語)	直矢	○	長谷川智明
裕子 (英語)		五組 (理科)	可児奈緒美
		六組 (理科)	四組 (地歴公民)

いよいよ今までの成果が試さります。悔いのないよう、お互に取り組みましょう。

誰でも樂して結果を望むものですが、そうはいきません。『学問に王道無し』とは言い古された言葉ですが、この機会に囁みしめてください。常に自分に負荷をかけその苦痛を楽しんで欲しいと思います。前向きに生きるということは、そういう苦痛と積極的に付き合うことではないでしょうか。

これから社会は今より一層生徒諸君に負荷を求めてくるでしょう。進路実現を通して自分を高めてくれることを期待します。

前列...正担任  
後列...副担任  
○ 学年主任

## 部活動顧問一覽

( )：講師

## 事務・担任以外の職員



(主事) 川村 育海

部活顧問一覧			
部活名	顧問名	部活名	顧問名
陸上競技	吉川 杉山典 生駒	吹奏楽	須田 岸 長谷川 (古田真)
柔道	酒井 松原 山内生	美術	降旗 田之本
剣道	長屋 水口	文芸	高木志
弓道	鹿嶋 林 (河田)	演劇	横山 加藤 (山内一)
野球	吉田 竹内 中島 土井	書道	田中 高木小 (岩垂)
卓球	津崎 杉山清 安江	自然科学	木澤 河田
バスケットボール	男 若園 佐藤正	放送	可児
	女 津田 紀藤 (高野)	パソコン	木村 小島
バレーボール	男 出川 丸谷	新聞	桂川
	女 今井 藤村	囲碁・将棋	渡辺俊 渡邊克
サッカー	金森 安達	手話	前田 (武山)
ラグビー	矢崎 小林	コーラス	佐藤惠 山田 (武藤)
テニス	男 柴田 丹羽		
	女 白井 神谷	茶華道(同好会)	櫻井
ボート	古田丈 塙田 羽田 中栗 (西原)		
ソフトボール	採内 森島 (赤塚)		



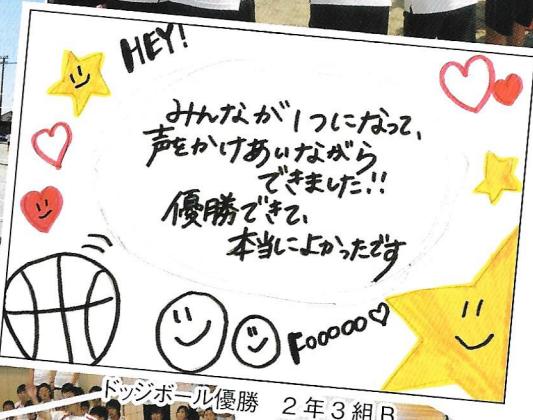
# 大會

5月20日(水)

その日、何日かぶりに訪れた学校で、車から降りるとグラウンドの方から歓声が聞こえた。もう始まっているのだろうか？ 徐に行つて、校舎の端の方からファインダーを覗いた。球技大会の撮影、それが今日のミッション。難しいと思ったが、そこには写すべき姿が溢れている。躍動感とは、こういうことなのだと実感した。そして決勝戦ともなればプレーはもちろん、応援する姿にも注目した。

すべてが終わり、さわやかな気持ちで帰路についた。初夏にしては暑い一日だった。

(保護者 N・K)



ドッジボール優勝 2年3組B

総合優勝 3年7組



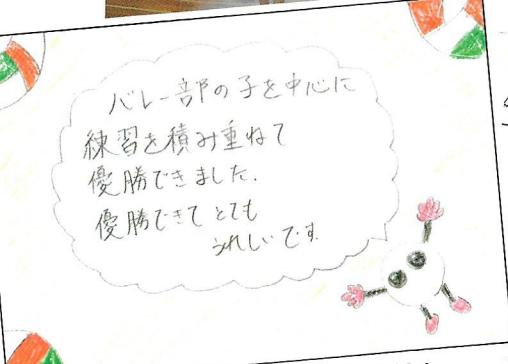
## 成績結果

	1位	2位	3位
総合	3-7	2-5	3-3
バレーボール (男子)	3-6A	2-1A	3-7A、1-3A
	3-2A	3-3B	3-4A、2-4
バスケットボール (男子)	3-7	2-7	3-1、2-9
	3-3	1-7	2-1、1-6
ドッジボール (女子)	2-3B	2-5	3-2A、3-7
サッカー (男子)	2-5	2-6	3-1、3-8





# 球技



ハンドボール男子優勝 3年6組A



バスケット女子優勝 3年3組



体育館、そしてグラウンド。それぞれの場所で歓声が上がりります。準決・決勝の頃にはプレーしている選手はもちろんな、周りの応援もますます盛り上がりつてきて、ものすごい熱気でした。学年関係なく戦う選手達に気付いたら私も声援を送つっていました。事も忘れて見入っていました。真剣に競う姿は見ていて心に感動を与えてくれるものでした。素晴らしい球技大会でした。



バレーボール女子優勝



# 定時制のページです。

輝け

副校長  
米山英津子

先日、中間考査が行われました。多くの生徒は、昼間働き、夜間に学ぶ頑張り屋さんです。今年度は、37名の新入生を迎え、全校生徒127名となりました。フィリピンなどの外国籍の生徒が全体の4割を超えるほどになつてきており、本校は正に多文化共生社会です。休み時間には日本語・英語・ポルトガル語・タガログ語での楽しげな会話が教室中に広がります。定時制の一日は、午後4時40分

授業は、午後5時25分に1限が始まり、午後8時40分に4限が終了します。その後は、午後4時40分

を過ぎた頃から始まります。出迎えます。新しい一日を「おはよう」から始めることは「清々しい気持ちでスタートしましよう」との意味を示しています。明るく元気な「おはよう」が、良き伝統となっています。



## 職員紹介

から試合を迎えるその他の部活動においても、精一杯練習に取り組み、全力で挑んでほしいと願います。生徒たちが部活動や授業での「遊び」を「行動」に変換し、益々輝く加茂高校定時制になるよう職員一同支援して参ります。今後とも、保護者並びに地域の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申上げます。

## 部活動

### ◆サッカー部

県大会(5月23日)

■1回戦 ●1-1 華陽F  
■3位決定戦 ○2-1 阿木

(PK2-13)

柏木キヨイチ

僕たちは、部員集めから始め、6人だった部員が15人までになりました。新入部員に初心者が多く大変でしたが、短い時間で一生懸命練習しました。

県大会初戦は、昨年度優勝校で正直不安でしたが、諦めずに戦い、同点で後半を終えました。惜しくもPKで敗れ、全国大会出場を逃しました。このチームで全国大会へ行きたいという思いが強く、みんな試合後泣いていました。次は秋季大会に向けて練習に励みます。

### ◆バドミントン部

県大会(6月6日)

#### 男子ダブルス

■1回戦 ●2-1 片岡・三嶋  
■2回戦 ○1-0 大垣商

#### 女子シングルス

■1回戦 ●0-1 華陽F  
片岡 優希

今回の大会には、3名が出場しました。男子ダブルスは

2回戦敗退、女子シングルスは1回戦敗退と残念な結果でした。2人は緊張の初出場でした。今回の課題を克服して秋の大会に向けて頑張ります。

今年度は新入生がいません。経験者に限らず、興味があれば、ぜひ入部して下さい。

## ケータイ安全教室(4月28日)



### 交通講話 1年生(5月29日)

加茂自動車学校の協力で、1年生を対象に

交通講話(交通安全教室)を行いました。自転車のルールを学んだ後、屋外でブレークのかけ方など、自転車の正しい乗り方を実践しました。6月1日から道路交通法が改正されたため、改めて自転車の交通ルールに対する意識を高めました。



### ◆バスケットボール部

県大会(6月13日)

#### 1回戦 ●37-48 岐阜工業

エスペランザダーレン

年度当初から毎日練習をしましたが、初戦の岐阜工業との戦いに惜しくも負けてしましました。しかし、この試合で一つ勉強になつたことがあります。今回負けたのは相手ではなく、プレッシャーだと思います。秋の大会に向けて、プレッシャーに負けない気持ちを作つていただきたいです。

**祝 第26回全国高校選抜ボート大会** 5位 ★ 女子舵手付きクオドルブル  
(今枝、片山、北村、長谷川、大橋)★  
**全国高校総体 出場** ★ ボート部  
女子舵手付きクオドルブル ★ **全国大会 出場** ★ 囲碁・将棋部 将棋の部  
中島君 ★

走	800	200	100	走	三	800	200	100
幅	m	m	m	幅	段	m	m	m
跳				跳				
羽	森	桥	耕	中	田	中	鈴	佐
田	田	田	井	口	井	口	木	藤
野							瀬	藤
以	2						2	
上	分						分	
4	32	28	13	5	6	11	12	10
県	m	s	m	s	m	m	m	s
大	24	21	50	66	72	15	83	45
会	出	5	6	5	6	1	4	2
	場	位	位	位	位	位	位	位

男子ダブルスカル	シングルスカル	シングルスカル
東海総体(6／20・21)	以上東海総体出場	以上東海総体出場
男子ダブルスカル A 渡辺、吉田	佐合	堀部
女子舵手付きクオドルブル (今枝、片山、北村、長谷川)	2位	B
ダブルスカル	3位	A
男子総合	2位	B
女子総合	3位	A

☆ 5位 ★ 女子舵手付きクオドルブル  
(今枝、片山、北村、長谷川、大橋)★  
☆ 全国大会出場 ★ 囲碁・将棋部 将棋の部  
中島君 ★

部活動報告

県高校総体(5／18)	バスケットボール部 女子	1回戦 本校×大垣工
県高校総体地区予選(4／29)	1回戦 本校×武義	
スプリングチャレンジカップⅡ部(4／29)	1回戦 本校×大垣北	54 1回戦 本校×大垣北 57
県高校総体地区予選(5／10)	0－2	30 1回戦 本校×大垣北 100
代表決定戦	本校×美濃加茂	
本校×武義	0－2	
スプリングチャレンジカップⅡ部(4／29)	1－2	
2回戦 本校×大垣西	予選敗退	
準決勝 本校×岐山		
決勝 本校×高山西		
県高校総体地区予選(5／10)	準優勝	
代表決定戦		
本校×閑		
県高校総体(5／24)		
県大会出場		
2－0		

県高校総体	5 / 16 · 17
女子団体	
1回戦	本校×瑞浪
女子 48kg級	小川
70kg級	犬飼
弓道部	
県高校総体地区予選(5 / 11)	
女子団体	出場
男子個人	出場
山崎、酒向	出場
女子個人	出場
鹿野、和田、森、佐藤	出場
県高校総体 5 / 16 · 24	出場
女子団体	県大会出場
男子個人	県大会出場
山崎、酒向	県大会出場
女子個人	県大会出場
鹿野、和田、森、佐藤	県大会出場
県高校総体兼全国(東海)総体県予選	(5 / 23 · 30)
剣道部	
男子団体	
1回戦	本校×大垣東
2回戦	本校×美濃加茂
1 3	5 0
県高校総体	
1回戦	本校×大垣東
2回戦	本校×美濃加茂
1 3	5 0
県大会出場	0 · 3

■ラグビー部	
県高校総体兼東海総体県予選(5 加茂・その他合同×岐南工 1回戦　　本校×箕島(和歌山県) 準決勝　　本校×岐阜聖徳 5-0 10-73 17-24 ×可児工	
■ソフトボール部	全国高校選抜大会(3／22)
県高校総体(5／24)	県高校総体(5／24)
野球部	春季中濃飛驒地区高校野球大会
リーグ戦	
本校×東濃実業	2-9
本校×加茂農林	3-2
本校×益田清風	4-8
本校×斐太	1-0
県大会出場ならず	
4-0	2勝2敗
■サッカー部	
県高校総体地区予選(4／19 本校×可児工 本校×郡上 本校×可児工	0-1 25-29
4-0	

---

www.IBM.com/ibm-business-solutions

変わる」と・変わらない」と

進路指導部長  
生駒伸一

「十年ひと昔」という言葉がありました。「ありました」と書いたのは、今の社会の変化の速さを考えたときに、10年でくくることが適當ではなさそうだからです。進路指導においても、同じことが言えます。もちろん保護者のみなさんが経験された頃とは大きく変化しています。その一方で変化しないこともあります。ここでは、昨今の大学入試について感じていることを述べることも、昨年度の本校の入試結果を振り返りたいと思います。

す。推薦、AO、センター利用、センター併用、全学部試験、次募集などをふくめると受験に関する情報はあまりにも多く、紙面で言い尽くすことは到底できません。800近い大学と3000近い専門学校がある中で、受験指導のプロでも情報把握しきることはできないでしよう。入試はどんどん多様化しています。従つてひとつの物差しで受験生を計ることはできません。先日の3年生保護者進路説明会でお話したところ、「受験は情報戦」という側面は無視できません。「知らなかつた」は後悔につながります。高い意識で情報を使いこなしてほしいと思います。

平成27年度入試合格者数一覧表	
	合格者数
国公立四大	85(4)
私立四大	509(12)
公立短大	3(1)
私立短大	31(0)
文科省管轄外学校	1(0)
医療系専門学校	20(0)
その他の専門学校	29
公務員	1
その他	22

( )内は内数で過年度生数

してほしいと思います。  
変わらないのは「大学受験は生きていく上で一つの大切なハードルである」ということであります。世界はグローバル化し便利さが追求される一方で、個人の生き方が重要視されることで普遍的で確固たる価値観を示せなくなっています。「教育」と言つても、学校が正しい方向を与えることができるわけではなく、実際は各個人が自分らしい「生きる力」を身に付けるための応援で精一杯です。「生きる力」を強くするために経験

さて、昨年度本校では現役生だけで国公立大に81名が合格しました。第一志望の私立大にしてたいへん健闘してくれたと思います。昨年度の3年生を振り返つてよかつた点として、まず学年の雰囲気があげられます。2年次の2月から「学年全員でセンター試験を目指そう」という意識をもち、進路決定者も1月までしつかり演習を手にした生徒がたくさんいました。取り組んでくれました。そして3月まで登校して粘り勝ち



編集後記

۱۶۹

PTA大学見学会  
6月25日好天の中、バス2台を貸し切り加茂高を出発しました。愛知県立大では、貴重な古書とその書庫に感動した後、学生に混ざり学食で昼食をとりました。南山大では、在学生の案内によるキャンパスツアーにこれまた学生気分を味わうことができました。短い時間でしたが、皆さん各校の雰囲気を楽しみながら、パンフレットなどからは読み取れないものを感じられた様子でした。

お子様が在学中の3回のチャンスを無駄にせず、気になる大学もどうでない大学も是非見学されるとよいと思いま

またキラキラとした笑顔や気力溢れるプレーに、自分たちが元気をもらう一日となりました。今後とも加茂高だよりを通じ、加茂高の素晴らしい姿や、クラスの団結を垣間見ることが出来ました。

(2年学年委員長 尾関雅宣)

PTA大学見学会